

集団健診 日程・会場一覧

月日(曜日)	実施会場	7:30～8:00	8:00～8:30	8:30～9:00	9:00～9:30	9:30～10:00	10:00～10:30	10:30～11:00	17:00～19:00
8/18 (木)	金ヶ瀬公民館	湯尻・堤1	堤2・新開	金ヶ瀬1	金ヶ瀬2 金ヶ瀬3	金ヶ瀬4 金ヶ瀬5	金ヶ瀬6		
8/19 (金)	総合体育館	福田	小山田	小島	住吉町	上川原			
8/20 (土)	総合体育館	橋本	本町1		幸町	桜町1			
8/21 (日)	総合体育館	中町		上町1		西原			
8/22 (月)	総合体育館	上大谷	本町2	尾形丁1	尾形丁2	桜町3			
8/23 (火)	総合体育館	新寺	上町2	丑越		中島町	桜町2		
8/24 (水)	総合体育館	原前		錦町	上谷1				指定の時間帯に都合のつかないかた
8/25 (木)	総合体育館	上谷2	緑団地	上谷3	稗田	南原前			
8/26 (金)	総合体育館	保料	未広	新田町					

※待ち時間解消及び感染拡大防止の観点から、“三密”にならないよう、なるべく決められた日程・受付時間での受診にご協力をお願いします。

※特定健診のほか、青年期健康診査・結核（肺がん）検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診も同じ日程で実施します。

※健診当日の結果から特定保健指導の対象となるかたは、健診会場で特定保健指導（初回面接）を受けていただきます。該当するかたには特定保健指導のご案内をします。

【会場】 ■ 総合体育館（住所：字小島1-7）
■ 金ヶ瀬公民館（住所：金ヶ瀬字原88）

追加健診日

月日(曜日)	実施会場	7:30～11:00
9/17 (土)	総合体育館	上記期間中に都合のつかないかた
10/2 (日)	総合体育館	上記期間中に都合のつかないかた

※10月2日（日）は「肝炎ウイルス検診」及び「骨粗しょう症検診」は実施しません。

個別健診

実施期間	11月予定
申込方法	町内実施医療機関へ申込み

※詳しくは、今後のおしらせばんに掲載します。

問合先 ▶ 健康推進課 保健予防係・保険給付係（1階③・④番窓口） ☎ 0224-51-8623

■ 特定健診とは？
メタボリックシンドロームに着目した健診（いわゆるメタボ健診）で、無料で受けられます。
◇健診項目◇
問診、身体測定（身長・体重・腹囲）、診察、血圧測定、血液検査（脂質・血糖・肝機能）、尿検査（尿糖・尿タンパク）

■ 特定保健指導とは？
特定健診の結果を踏まえ、保健師や管理栄養士から生活習慣を見直す指導が無料で受けられます。



あなたは毎年特定健診を受けていますか？
自分の健康状態を知るために特定健診は、生活習慣を見直すきっかけとなります。生活习惯を改善し、健康を維持することは医療費・介護サービス費の軽減にもつながります。
対象のかたには、8月上旬に特定健診検査受診票を郵送します。
年に一度は特定健診を受け、自分の健康について考えましょう。

「高血圧」「脂質異常症」「糖尿病」といった生活習慣病は、ほとんど自覚症状がなく、なかなか気づくことができません。自覚症状が出たときにはすでに重症化している場合が多く見受けられます。
進行した状態から治療を受けるよりも、早い段階で生活习惯の改善や治療に取り組めば、医療費および時間や心身にかかる負担の軽減につながります。

令和元年度の町の国保加入者の特定健診受診率は52・7%でした。一方、町の協会けんぽ（社保）加入者の特定健診受診率は59・4%でした。比べてみると国保加入者の受診率が少し低いことがわかります。
「健診は受けた方がいい」と分かっていても、「忙しくて暇がない」、「健康だから大丈夫」、「ひつかかったら面倒くさい」と、健診を避けていませんか？
あなたのその油断に生活习惯病の影が忍び寄つてくるのです。

『特定健診が無料で受けられるなら行ってみよう』と、前向きに考えてみましょう。

生活習慣病の予防には特定健診・特定保健指導が有効です

国保加入者の特定健診受診率は？

令和元年度の町の国保加入者の特定健診受診率は52・7%でした。一方、町の協会けんぽ（社保）加入者の特定健診受診率は59・4%でした。比べてみると国保加入者の受診率が少し低いことがわかります。
「健診は受けた方がいい」と分かっていても、「忙しくて暇がない」、「健康だから大丈夫」、「ひつかかったら面倒くさい」と、健診を避けていませんか？
あなたのその油断に生活习惯病の影が忍び寄つてくるのです。

令和元年度の宮城県のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者と予備群の割合は、31・4%で、全国ワースト2位となっています。その中でも大河原町は32・7%で、かなりのかたが「メタボ」という状況です。
メタボは、放っておくと命に関わる重大な病気に至る可能性があります。特定保健指導により保健師や管理栄養士などのアドバイスを受けながら生活习惯を見直すことがとても重要です。しかし、令和元年度の町の国保加入者の特定保健指導実施率は32・0%で、生活习惯を改善する機会を逃がしているかたがとても多い状況です。

自身の健康状態を確認しましょう。
※町では、随時、健康相談や特定健診の結果説明等を行っています。ご希望のかたは、健康推進課（☎ 51-8623）までご連絡ください。

参考：データから見たみやぎの健康（令和3年度版）